

元気っ子しゅうごう

問 秘書課広報統計係
☎95-9867

申し込み



右: ^{れおん}畑谷 怜穂ちゃん
2021年3月25日生まれ

左: ^{らいら}来咲ちゃん
2023年5月9日生まれ

毎日ケンカばかりだけどなんだかんだ仲良しで、仲良く2人で笑いあっている姿を見るとほっこりするよ。生まれてきてくれてありがとう。大好きだよ！（神有町）



^{みおん}湯地 美桜ちゃん
2024年7月27日生まれ

愛きょういっぱい誰にでも笑顔振りまくみおんちゃん！これからも変わらず、笑顔で元気にすくすく育ってね。

（天神町）

すいすい水族館

隠れ上手な川底のカマキリ？！

問 海浜水族館 ☎48-3761

カマキリといっても昆虫ではなく、カジカ（スズキ目カジカ科）というグループに属する川魚です。矢作川にも生息し、石のような色と黒い縞模様が特徴で、頬にある小さなトゲでアユを引っ掛けて捕らえるという伝説があるため「アユカケ」とも呼ばれます。実際にアユを引っ掛けるわけではありませんが、20cmほどに成長し、大きな口でアユを捕らえることもある、水中のハンターです。また、じっと動かずに川底の石に擬態する習性を持つため、水槽ではなかなか見つけてもらえず、そのややこしい名前もあいまって、「カマキリどこにいるの？」という声が聞こえてきます。

そんなカマキリですが、産卵は河口や沿岸海域で行われ、ふ化後は海で少し成長した後、川を遡上するため、海と川を行き来しなければ生きていけません。しかし、現在では人工物のせきやダムなどが移動を阻み、遡上ができずに数を減らし、絶滅危惧種に選定されています。

来館の際は、石に紛れたカマキリをじっくり探して、クリアと可愛い目を見つけてくださいね。そしてカマキリを通し、身近な自然に関心を持っていただけると嬉しいです。

▷石に化けているカマキリ



◀水槽を上から撮影しています。
左に3匹のカマキリが隠れているので、探してみてくださいね！